



学力向上推進教員として活躍している皆さんを紹介します

県教育委員会では、先生方の授業力向上を図るための実践を通じた研究・研修の一環として、「学力向上推進教員配置事業」に取り組んでいます。今年度は、10人の先生方がのべ20校の支援を行っています。

○用務（業務）内容

◆勤務校・支援校において（本務）

- ・チーム・ティーチングによる授業改善支援、モデル授業の提供
- ・「学力向上対策評価シート（マイプラン）」を活用した取組支援
- ・校内研究や授業研究会等における助言 等

◇その他の学校等において

（本務の支障とならない範囲内で）

- ・校内研究や授業研究会等における助言
- ・各教科等部会への支援 等

※支援要請については所管の市町教育委員会へ御相談ください！

○紹介とメッセージ

小学校



まつだ ようこ 教諭
松田 洋子 教諭

〈勤務校〉 思斉小学校
〈支援校〉 東原庫舎東部校



先生方と一緒に子どもたちが学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを目指します。

みつたけ まなぶ 指導教諭
光武 学 指導教諭

〈勤務校〉 千代田西部小学校
〈支援校〉 久保泉小学校



「わかる」「できる」「たのしい」と思える授業を先生方と一緒につくっていきます。

わたなべ ともみ 教諭
渡邊 知美 教諭

〈勤務校〉 西唐津小学校
〈支援校〉 佐志小学校



先生方と共に子どもたちが「わかる・楽しい」授業づくりを目指します。

とりかい りえ 教諭
鳥飼 理恵 教諭

〈勤務校〉 江北小学校
〈支援校〉 朝日小学校



子どもが学びの主体である授業を先生方と一緒につくっていきます。

はいさき のりこ 教諭
灰崎 紀子 教諭

〈勤務校〉 嬉野小学校
〈支援校〉 北波多小学校



子どもたちがワクワクするような授業づくりを目指して、先生方と一緒に頑張ります。

中学校



だて ゆきなが 教諭（数学）
伊達 幸長 教諭（数学）

〈勤務校〉 牛津中学校
〈支援校〉 昭栄中学校



先生方と一緒に学びに向かう力を育て、深い学びの実践を頑張ります。

くりやま せいじ 指導教諭（理科）
栗山 清次 指導教諭（理科）

〈勤務校〉 中原中学校
〈支援校〉 東背振中学校



先生方と一緒に主体的に学ぶ生徒たちを育てていきたいと思います。

ふくしま めぐみ 教諭（数学）
福島 慈 教諭（数学）

〈勤務校〉 浜玉中学校
〈支援校〉 鬼塚中学校



先生方と一緒に、学力の向上を目指して頑張ります。

こぞの えみ 教諭（数学）
小園 絵美 教諭（数学）

〈勤務校〉 武雄中学校
〈支援校〉 多良中学校



子どもたちの「学びたい」を大切にしながら、先生方と一緒に頑張ります。

はた なつこ 教諭（数学）
羽田 奈津子 教諭（数学）

〈勤務校〉 西部中学校
〈支援校〉 北方中学校



生徒が主体的に学ぶ授業づくりを目指して、先生方と一緒に頑張ります。



多様な他者と協働し、主体的に学ぶ児童生徒の育成に向けて

8月5日(木)に「令和3年度小中連携による学力向上推進地域指定事業に係る指定校連絡会」をアバンセで開催しました。講師に 国立教育政策研究所 教育課程調査官 安部 恭子 氏をお招きして、「**多様な他者と協働し、主体的に学ぶ児童生徒の育成～学級経営の充実とキャリア形成～**」という題でオンライン講演会を行いました。講演後は、指定校の小中学校において、各学校の実践の紹介や、これまでの取組の成果と課題についての意見交換を行いました。講演のポイントと参加された先生方の感想を紹介します。



講演のポイント

- 学習活動や学校生活の基盤となる**学級経営の充実**に資する学級活動(1)の充実を図り、**学びに向かう学級集団**を形成することが重要である。
- 特別活動を要としたキャリア教育**に取り組むことで、なりたい自分に向けて努力し、自分らしい生き方の実現につながっていく。

【小中のよりよい連携のために！】

- ・小・中学校の実態から、課題を把握することが大切である。
- ・「**9年間を通じて目指す子ども像**」の明確化⇒共有化を図っていくことが必要である。
- ・**9年間を見通した年間計画**を作成し、「**円滑な接続のための留意事項**」を加えていくとよい。
- ・各内容について、**どのような学習過程**において、**どのような「見方・考え方」**を働かせることにより、**どのような「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力等」**を身に付けることを目指すのかを示していくことが必要である。
- ・**振り返り**を次の課題解決に活かしていくことが大切である。

【これからの子どもたちに必要な資質・能力を育むために！】

- ・**参画意識**を高め、**自治的能力**を育むことが大切である。
- ・**自己有用感、自己効力感**を高めるようにしていく。
- ・役割意識を高めることが自己有用感の向上につながる。
- ・将来に向け、「自分らしい生き方の実現」をしていくことが重要である。
- ・学校行事を充実させていくとよい。(特色ある学校づくり、学校文化をつくる)

参加者の感想

- ・これからの子どもたちに必要な資質・能力を育むために、学級経営や特別活動の充実がいかに重要か痛感した。各学級一人一人の子どもが輝くよう、出番や役割が生かされる学級の雰囲気づくりを学校全体で取り組んでいきたい。
- ・何のために、何を、どのように学ぶのかを子どもたちと共有し、他者との関わりの中で一人一人が自分の考えを整理したり、考えを深めたり広げたりできるようにしていきたい。



インフォメーション

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果が各学校へ提供されました。各学校においては、**中間評価として教科調査や質問紙調査における児童生徒の結果分析や課題解決に向けた取組**を行い、今後の教育指導の充実や学習状況の改善に役立てていただきますようお願いいたします。なお、国立教育政策研究所のホームページでは、全国調査についての報告書が掲載されていますので、有効に御活用ください。次号で県の結果について御紹介します。

国立教育政策研究所URL：<https://www.nier.go.jp/21chousakekkahoukoku/index.html>